日本語授業ボランティアの心得

一、必ず参加すること

一、遅刻をしないこと

一、参加できない場合には、必ず事前に連絡を入れること

一、授業中の私語・飲食は禁止

1. 授業ボランティアは、留学生の日本語学習の支援を目的とするもので、また留学生の成績にも影響する重要な役割を担っています。くれぐれも英会話の練習台として接することがないようにしてください。留学生といっても、学生はそれぞれに多様な背景を持っています。留学生の日本語学習に対する動機や意欲を損ねるような言動は絶対に行わないように注意してください。
2. 相手の日本語のレベルが低い場合でも、無理に訂正することなく、相手の日本語を聞く姿勢で臨んでください。媒介語をなるべく使わずに、相手が理解できそうな日本語を使い、どうしても意思疎通が図れない場合は簡単なフレーズで言い換えるようにしてください。
3. ボランティア学生の授業開始直前のキャンセルは、授業進行に大きな影響があります。担当科目決定後のキャンセルは原則として認めていません。ボランティアとしてご協力いただける方は、この点を十分にご理解ください。申請の際は、授業やアルバイト等、自分のスケジュールが確定した後に申請してください。
4. ボランティア登録後、やむを得ず、指定日に参加できなくなった場合は、担当教員まで事前に必ずご自身で連絡してください。無断欠席は絶対のないようにしてください。日本語センター事務所から担当教員への連絡はいたしません。

日本語履修学生およびクラスの説明

●学生の構成

・日本語を学びに来ている学生(日本語教育プログラム学生)、学部生、大学院生等

●日本語科目の構成

カテゴリ	概要
総合日本語	1～6レベルに分かれ、四技能を総合的に学習する。
入門日本語	未習の学習者が日本語をゼロから学習する。
日本語技能 (会話・漢字)	技能に沿って、日本語を学習する。 日常生活において必要な日本語能力を鍛えることができる。
にほんご	初級前半レベルの学習者が、基本的な表現や文法を学習する。
テーマ科目	日本語や日本文化・社会に関するテーマを設けて学習する。

科目の内容については WEB シラバスを参照するか、以下の URL から「科目登録の手引き」をご覧ください。

<URL> <https://www.waseda.jp/inst/cjl/students/registration/download/>